

大規模災害発生に備え、「道路啓開訓練」を実施しました！ ～南海トラフ地震を想定し、防災関係機関が連携強化～

記載日：平成30年12月6日

平成30年12月4日(火)に、高知県南国市(吾岡山)において、南海トラフ地震による大規模災害を想定し、被災情報の伝達及び、緊急通行車両などの通行ルートを迅速に確保するため、災害対策基本法に基づく道路区間指定、被災車両の移動、ガレキ等の撤去及び落橋箇所への応急復旧訓練を実施しました。

なお、被災車両の移動方法は、雪害時の立ち往生車両の移動時も活用できます。

訓練には、国土交通省土佐国道事務所及び道路維持工事受注業者、高知県、高知県警察本部、南国警察署、高知県建設業協会南国支部などの防災関係機関から約60名が参加しました。



【開会式】



【簡易移動器具による車両移動】



【災害対策基本法に基づく道路区間指定】



【落橋箇所の応急復旧(コルゲートパイプ設置)】



【フォークリフトによる車両移動】



【バックホウによるガレキ撤去】